



## 「今楽しい事」

ひさか  
永田 尚香 (26 歳・群馬県)

「アドボケート」(advocate) とは、障害関連では、権利擁護のための活動を支持する人、擁護する人、代弁する人の意味です。この企画では、「セルフ・アドボケート」=ダウン症のある人たちに、自ら、自分の言葉で、現在の生活についてや思いなどを伝えていただきます。全国からの発信をお待ちしています。

私は桐生市相生町のスタジオリッチと言うダンススタジオでスタッフの仕事をしています。スタジオでは赤ちゃんとお母さんのベビービクスやマタニティヨガ、シニアのエアロビクスや社交ダンスやゴスペルがあり、いろいろな人達が来ています。

朝はトイレ掃除と玄関の掃除、ベビービクスの時には赤ちゃんの為にマットを敷きます。ダンスで使ったコップを洗ったり、モップをかけた後、鏡を拭いたりします。

一番大切な事は笑顔で挨拶をすることだと思っています。

今楽しい事は社交ダンスです。ジャイブやルンバ、ワルツ、タンゴを練習しています。社交を始めてから5年になりました。もっと練習を頑張り先生のように踊る事が夢です。

最近始めたゴスペルでは発声練習をしたり、ステップをとりながら歌う事が気持ちよくて嬉しくなります。

「OHハッピーデイ」は完璧です。スーパー×と言うダンスチームにも入っています。スーパー×はみんな障害をもっている仲間達です。チームの名前も私達で考えました。みんなといると楽しくて、曲が流れるとすぐ

に踊りたくなります。トラブルになった時には全員で話し合い問題を解決します。私は歌もダンスも大好きです。

もうひとつ、中学生の時からずっと続けていることは劇団ブーメランです。劇団員はみんな障害をもっています。

劇の中ではいろいろな役になります。「サウンドオブミュージック」ではシスターと子どもの役になりました。「人間になりたがった猫」ではパン屋さん、「夢からさめた夢」ではお母さんになりました。

舞台の上では緊張をしてドキドキするけど、お客さんに感動をしてもらえるように頑張っています。みんな女優です。

拍手をたくさんしてもらおうとホッとします。私は仕事も仲間もずっと大切にしたいとおもいます。



プロフィール

1988年群馬県桐生市生まれ。6歳上の兄と二人きょうだい。小中学校は特別支援学級へ通い、高校は県立高等養護学校へ。卒業後

は、産業技術専門学校の知的障害コースで半年間学ぶ。現在は、ダンススタジオ「スタジオリッチ」のスタッフとして働いている。趣味は、ダンス・歌(ゴスペル)・ミュージカルと幅広く、充実した日々を送っている。